（第二類）（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）　昭和十六年五月十六日（金曜日）　臺灣日日新報　第一万四千七百九十二號　（一）

臺灣新民報 夕刊 五月十五日
夕刊特別定價一部二錢
作業所在地 臺北市榮町二丁目二番地
社長 人行兼發行者
社屋 新日日報社 所有
印刷所

ファンタス 美人インキ 克仲商店

山西の峻嶮舞臺に 包圍殲滅戰最高潮

【河南前線○○にて十四日發同盟】中條、歸山、大谷を山腰の綫を基點に敵はそのを殲滅の爲り十四日夕殲滅までの各戰況次の通り

一、河南戰線　劉汝明麾下の第十四軍團に對する總攻擊は着々進められ田中、同村、溝沫、錦家、李崗、鄧寨、大田、吉野、谷の各戰隊は總攻擊開始以來（臺灣時間十一時）及び濟源西方地區で敵兵九、九十三、九十八の各軍を擊滅し殘敵掃蕩中

一、山西南部戰線　晉方面軍の第五師團はわが數次に亙る包圍殲滅に依り中條山脈十四日現在、一部殘敵を殲滅中、同方面において十四日までに捕獲した敵兵は重砲三門、機關銃多數にのぼつてゐる

一、黄河渡河　黄河東岸の第二十七師は十四日拂曉わが對岸山中の敵第九十三師の一部を黄河に壓迫してゐるがわが對岸は黄河第九大隊渡河

敵の五月攻勢も空し 我が方大戰果 原駐地に復歸

【重慶十四日發同盟】去る七日以來江北縣方面の敵殲滅戰を續行しゐた北岸支隊は敵の一部を除いて旣報の如く十四日夕、歸山、同村、溝沫、錦家、李崗、鄧寨、大田、吉野、谷の各地より一齊に總退却を開始、各隊は歸山東北方約十里の敵陣を總攻擊後、更に南下して敵主力の退路を遮斷すべく行動中であるが、敵は我が方の意圖を察知し、殘敵を收容して逃走を圖つてゐるので、我が軍は之を追撃しつゝ各隊とも旣報の如く原駐地に復歸した

敵を猛撃 六萬の頑敵 敵將劉山岳地帶に逃込む

【重慶十五日發同盟】我が徹底的殲滅戰に脅威を感じた敵將劉山岳は殘存兵力六萬を率ゐて十四日午後十時半頃より數回に亙り我が北岸支隊の包圍陣に對し猛烈なる反撃を加へ來つたが、我が各陣地は之を悉く撃退し、敵は遂に支持し得ず、十五日午前二時半頃より全面的に退却を開始した、我が軍は之を猛追中である

又も反日言辭 頑迷・英外相下院で聲明

【ロンドン十四日發同盟】イーデン英外相は十四日下院において現在の對日關係に關し左の如く聲明した

日本政府は英國の最近の態度に對し不當の非を鳴らしてゐるが英國としては日本が英國の在英權益に對し適當な考慮を加へこれに對する取扱ひを改善するに限り對日關係を調整する用意あることを聲明する、英國は支那の國民政府を承認するも支那の現狀を正當と認めず、支那の獨立と領土保全を尊重するの意思を有するものである

英政界にも異論

【ロンドン十四日發同盟】イーデン英外相は十四日下院において英國政府の極東政策について聲明を行つたが右聲明に對しては「英國政府は依然極東の現狀を正當と認めず支那の獨立と領土保全を尊重するの意思を有するものである」との點を除いては英國政府の極東政策の變更を意味するものではないかと疑ひ殊に日本の態度を硬化せしめ日英關係の調整を困難ならしめるものであるとの觀測が一般に行はれてゐる

歐洲新秩序建設へ 佛、全面的對獨協力

獨佛協定

【ヴィシー十四日發同盟】佛國政府は過般ヒトラー總統、ダルラン副首相の會談に於ける決定に基き獨佛交渉事項を審議するため十四日午後十時半より閣議を開催したが、閣議終了後ダルラン副首相は左の如きコミュニケを發表した「閣議は獨逸ヒトラー總統、ダルラン副首相の會談に於ける決定事項を審議し之を承認した」

獨佛交渉事項 閣議で承認

【ヴィシー十四日發同盟】佛國政府は過般ヒトラー總統、ダルラン副首相の會談に於ける決定事項を審議し之を承認したが、閣議終了後ダルラン副首相は左の如きコミュニケを發表した「閣議は獨逸ヒトラー總統、ダルラン副首相の會談に於ける決定事項を審議し之を承認した」

泰・ソ兩國間にバーター協定說

英國政府極度に狼狽

【ロンドン十五日發同盟】タイ國に於ける英勢力の減退は最近著しきものがあり、英國人の引揚や英人經營の工場閉鎖が續出してゐるが十三日のタイ、ラード紙論説に依れば南部タイ國に於ける英國系鑛山會社に對しソ聯邦政府は最近

英勢力は著減 泰國に於ける

【ロンドン十五日發同盟】タイ國に於ける英勢力の減退は最近著しきものがあり、英國人の引揚や英人經營の工場閉鎖が續出してゐるが十三日のタイ、ラード紙論説に依れば南部タイ國に於ける英國系鑛山會社に對しソ聯邦政府は最近

生活必需物資の 配給機構整備急ぐ

【東京發同盟】生活必需物資の配給機構整備に關しては商工省當局に於て鋭意研究中であるが、既報の如く十月一日より米、麥、麥粉の配給統制實施に伴ひ、これが配給機構の整備を急ぐ必要あるに鑑み、既存團體を利用して之が實施に當らしめる方針で目下關係當局間に於て具體的研究を進めてゐるが、その概要は次の如くである

一、米穀、麥粉の配給機構は次の如くする

一、都市地區における生鮮魚介、蔬菜、果實、鳥獣肉、豆腐、生麩、澱粉等の配給は從來の組合を利用するものとし、これが組合の結成を促進する

一、都市以外の地區においては卸賣業者を除外し、小賣業者は一切これを組合化を圖る

一、既存の生活必需品關係營業者は、なるべく同業者を以て組合を結成せしめ卸賣業者は從來の組合を利用するものとし、これが組合の結成を促進する

一、配給組合は次の種別に區劃し、一市町村一組合を原則とし、人口五萬以上の都市にあつては數組合を設置すること

一、米穀、麥粉の配給組合は米穀商組合

一、澱粉、鳥獣肉、豆腐、生麩、蔬菜類の配給組合は各種營業者を以て組織する

一、卸賣業者は小賣業者を除外し、小賣業者は一切卸賣業者を除外すること

一、可能なる限り各地において卸賣業者の企業合同を促進し配給機構の簡素化を圖ること

一、既存の生活必需品關係營業者は、なるべく同業者を以て組合を結成すること

獨ソ交渉新進展か 駐獨ソ聯大使歸任

【ベルリン十五日發同盟】デカノゾフ駐獨ソ聯大使は十四日モスクワからベルリンに歸任した、來るベルリンでクルイチコフ駐ソ獨國人會議長は獨國の國會議員數名を招き獨ソ間の經濟關係の調整に關する懇談會を開催したが、これは獨ソ間の經濟關係の調整に關する懇談會を開催したものであるが、これは獨ソ間の經濟關係の調整に關する懇談會を開催したものであるが、これは獨ソ間の經濟關係の調整に關する懇談會を開催したものである

海軍異動 發令

【海軍省發表十五日午後零時】本日附左の通り

海軍中將　森島　樹

海軍少將　山口多聞

海軍大佐　大石保

海軍大佐　松崎　重三

海軍大佐　大石保

歐洲戰局は愈よ 東地中海に擴大

【ベルリン十四日發同盟】獨ソの東地中海戰線は愈々擴つてゐるが獨ソ戰ドイツは三日間臨時を設けて獨ソ戰線に對し、獨ソ

皇后陛下けふ宮城御發輿

一路京都に向はせらる

【東京發國際】皇后陛下には天皇陛下が昨年十月即位の禮を擧げさせられ御親ら皇后陛下に御璽國璽を授けさせられたる御儀の後を承けさせられ本日宮城御發輿、伊勢神宮、神武天皇、仁德天皇、孝明天皇、明治天皇、英照皇太后各山陵に御親謁の御儀を御勤め遊ばす方御二日間に亙る御旅行を終へさせられて還御遊ばされる筈である

【東京發國際】皇后陛下には午後一時御發輿遊ばされ各官廳の奏祝を受けさせられ御見送りの下に御車寄を御發ましになり二重橋を經て宮城を出御、一路京都に向はせられた、午後五時二十分頃京都驛御着、直ちに御宿所たる京都御所に入御遊ばされる筈、武藏野陵、神武天皇陵、仁德天皇陵、孝明天皇陵、明治天皇陵

防諜週間特輯

守れ臺灣・スパイの関門

諜報、宣傳と謀略

平戰時を問はぬ秘密戰

スパイは一體どんなことをするものであるか、いくら防諜、防諜と口喧しく云つても、スパイが何であるかを知らなければその效果を擧げることは出來ない、要塞地帶の寫眞を撮す、兵力の配備を探知する、機密書類を盜む、これがスパイの行ふ祕密手段の總てであるとするのはとんでもない認識不足である、ではスパイの活動とは？左の如く諜報、宣傳、謀略の三つに分けて萬全の警戒を怠らすスパイの活動を完封することに努めねばならない

一、諜報　諜報とは目的を隱して國家機關とくに軍事に關する情報を探知することをいふ、その際諜報が祕密の裏であらうと、なからうと關係はない、目的を相手に知つて諜報を取れればそれが諜報行爲である、諜報をするには先づ諜報を知ることが先決條件である、諜報はそれ自體獨立の作業ではなくて、他の諜報や破壞、宣傳、謀略の三つの手段によつて祕密裏に時から時へと續けられてゐるのである

二、宣傳　宣傳とは個人或は團體が自己の主義主張を相手に知らせて理解と共感を求めることで宣傳自體は惡いことではなく正しいことであるから諜報の場合にも宣傳は大體において諜報の裏面を指してゐる、しかし一般にさうした宣傳でも、結果において惡い影響を與へることがあるので、これはいい意味から諜報宣傳ではあるまいと思はれるのである

三、破壞　破壞とは目的を隱して國家の重要な施設を破壞することをいふ、その目的は軍事的なものだけを目標としたが、國際關係の今日では、それ以外の凡ゆる國家機關員機密、或品には諜報とは思へないことまで破壞の對象となつてゐるのである

四、謀略　謀略とは敵を陷れるために使はれる種々の物質、これが謀略である

スパイの諜報とあると聞はれてゐるが、これが謀略である

國民　それに侵入する

敵から諜報されない樣にすることである、スパイは諜報宣傳に關する情報の蒐集から始まつて現實に迫つてくる、スパイは我が防諜に對しあらゆる手段を講じてくるが、これに對する國民の心構へとしては

一、一般の警戒を嚴重にすることもあるが、防諜の要諦は平常生活に於ける防諜を實踐することで、最後に於ける防諜の目的に向つて國民が各自の職域に於て自發的に防諜に協力することである、その結果が我に取つて如何に有利となるかを知ること、防諜は國家の爲であると共に國民自身の爲であるといふ事を理解して防諜に對する關心を深めること

二、宣傳　宣傳とは個人或は團體が自己の主義主張を相手に知らせて理解と共感を求めることで宣傳自體は惡いことではなく正しいことであるから諜報の場合にも宣傳は大體において諜報の裏面を指してゐる、しかし一般にさうした宣傳でも、結果において惡い影響を與へることがあるので、これはいい意味から諜報宣傳ではあるまいと思はれるのである

三、破壞　破壞とは目的を隱して國家の重要な施設を破壞することをいふ、その目的は軍事的なものだけを目標としたが、國際關係の今日では、それ以外の凡ゆる國家機關員機密、或品には諜報とは思へないことまで破壞の對象となつてゐるのである

四、謀略　謀略とは敵を陷れるために使はれる種々の物質、これが謀略である

古本屋の書棚にも光るスパイの眼

諜報は日常生活へ侵入

スパイは諜報宣傳に關する情報の蒐集から始まつて現實に迫つてくる、スパイは我が防諜に對しあらゆる手段を講じてくるが、これに對する國民の心構へとしては

一、一般の警戒を嚴重にすることもあるが、防諜の要諦は平常生活に於ける防諜を實踐することで、最後に於ける防諜の目的に向つて國民が各自の職域に於て自發的に防諜に協力することである、その結果が我に取つて如何に有利となるかを知ること、防諜は國家の爲であると共に國民自身の爲であるといふ事を理解して防諜に對する關心を深めること

二、宣傳　宣傳とは個人或は團體が自己の主義主張を相手に知らせて理解と共感を求めることで宣傳自體は惡いことではなく正しいことであるから諜報の場合にも宣傳は大體において諜報の裏面を指してゐる、しかし一般にさうした宣傳でも、結果において惡い影響を與へることがあるので、これはいい意味から諜報宣傳ではあるまいと思はれるのである

三、破壞　破壞とは目的を隱して國家の重要な施設を破壞することをいふ、その目的は軍事的なものだけを目標としたが、國際關係の今日では、それ以外の凡ゆる國家機關員機密、或品には諜報とは思へないことまで破壞の對象となつてゐるのである

四、謀略　謀略とは敵を陷れるために使はれる種々の物質、これが謀略である

國民　それに侵入する

敵から諜報されない樣にすることである、

曉の町 (169)

武田麟太郎作　林唯一畫

旋（十）

「さうだ、ひよつとしたらこれが縁談との最後になるのだと思ふとあるから、私としたこと赤面を装はうと打ち消して、おきんは、

「——頂きます」

と、お茶を取り上げた。

果して縁談からの帰り道を話してあるか知らないが、彼女の方ではじつと自分の手もとを眺してゐるやうな様子をして、さつきからあやしい手付きになつたりした。

恐らく仕三人に共通する緊張もないままに話してゐると、暗で宮の家がした。

「——すて、いい娘だこと」

郎君の縁談とうれ、そのごみじみしたところで生きて来た彼女は、その娘の家がいいのあ感いのかは判らないが、ずいんと心にしみ通るものとして聞いた。うつとりするあまさに、果林の言葉に聴つて、どこで静かに暮すのもいいまたしてもそんな心地に落つて行く。

——何を話のいいことを……

縁談のきびしい心から娘が聞えいんですよ」

「——頂縁でしまいますわ」

上娘の縁談がどんなものか、おきんは知らなかつた故、とにかくさうした恋愛を考へを持つてゐる十八歳の少女を、何か感覚する眼で見るのであつた。

「——私なんぞは小娘もらくらく出てきりません、よく家のない女が縁談の都合を選んで来たのは一生懸命に思ひを装しまず」

それを会話にするやうに、信子は、おやさやさ、ちようとと、頭をさげた。

「——や、さうだつたな、ねえ、おきんさん」

と彼女に呼びかけて、娘も一しよに頭縁をと聴つてゐたが、ゲふふ同級の者があるんださうで先縁しますと、云ふのであつた。

「——さうですか、ほうそ」

感すまひを直して、おきんも、行つてらつしやいまと挨拶した一人きりになると、果林は、サイダーを持つて来さますん、サイダーそれを飲した。

ゆうくりと食事はほはうた。

いつた娘分で縁談の中からは出して天目の高いな、雪の空が縁談の縁に聴つてゐる自己称みこんだ。縁談から手折つて来た縁談の入口にやさしてゐる娘の一枝が無縁にいとしくなる私は縁をくつけてその香を吸いでみた私は縁に縁談になつてゐるに違ひな い、私はその娘花に縁ながら川野一等兵の生命を感つた、私は川野一等兵の生命もかく美しく咲かくに咲つたのだと思つた。それは縁しく美しい花であつた。逆ひない、私はわざと縁やすりその縁花の一枝に縁談とみれた。そして私は、悲しい縁に縁地が縁縁に見つかりますレス其の間口から縁縁がにじり出ます。

「——縁、やうだが、……」

さうきから切り出さうとしてゐたのを、彼云ひ出しを。

「——いつまで、縁縁に、……」

「——はて、明日、明後日は行らせんから、すぐに彼行て、……」

彼女もそれを口に云つてから、さうで云ひにも恥ずかしいんだと身を振りかへる縁じであつた。

「——明後日、すぐに？」

「——はゝ、次は日立へ乗り込みます」

「——おきんさん」

果林は一縁乗り出した。

はつと我に返つたさまを、果林は何と見たのか、

「——どうかしましたか」

「——いいえ」

と、縁あからて、

「——お縁さん、縁談の方は……」

と、ぼつて聞つてつげたうなことを云ひ出してゐた。

信子は感びれず縁にはをきとめ受け答へしたり、私も果林へ行きたいなどと云つた。

「——縁縁をしたら、どうしても七縁の縁談へ行くと云つて聞かな。

商況（十五日）

東京短期前場

東新	一五二	一五六	一五一	安田	一五一	一五四	一五一	大新	一五八	一六三	一五八	銀新	一五〇	一五二	一五〇	帝人新	九二五	九二五	九二五
日窒	二一六	二一八	二一六	日曹	九四	九六	九四	日鉱	五六	五六	五六	日本	九六	九六	九六	日電	三七	三七	三七
満業	三七	三七	三七	満鉄	五六	五六	五六	鮮銀	一〇二	一〇二	一〇二	鮮殖	一〇二	一〇二	一〇二	鮮拓	一〇二	一〇二	一〇二
鮮電	一〇二	一〇二	一〇二	鮮合	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二
鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二

東京短期前場

東新	一五二	一五六	一五一	安田	一五一	一五四	一五一	大新	一五八	一六三	一五八	銀新	一五〇	一五二	一五〇	帝人新	九二五	九二五	九二五
日窒	二一六	二一八	二一六	日曹	九四	九六	九四	日鉱	五六	五六	五六	日本	九六	九六	九六	日電	三七	三七	三七
満業	三七	三七	三七	満鉄	五六	五六	五六	鮮銀	一〇二	一〇二	一〇二	鮮殖	一〇二	一〇二	一〇二	鮮拓	一〇二	一〇二	一〇二
鮮電	一〇二	一〇二	一〇二	鮮合	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二
鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二

東京銀行實株

日本	二〇五	二〇五	二〇五	帝人	三七	三七	三七	東新	一五二	一五二	一五二	東電	五四	五四	五四	東拓	一〇二	一〇二	一〇二
東鉄	一〇二	一〇二	一〇二	東鉄	一〇二	一〇二	一〇二	東鉄	一〇二	一〇二	一〇二	東鉄	一〇二	一〇二	一〇二	東鉄	一〇二	一〇二	一〇二
東鉄	一〇二	一〇二	一〇二	東鉄	一〇二	一〇二	一〇二	東鉄	一〇二	一〇二	一〇二	東鉄	一〇二	一〇二	一〇二	東鉄	一〇二	一〇二	一〇二

東京短期日歩

日窒	二一六	二一八	二一六	日曹	九四	九六	九四	日鉱	五六	五六	五六	日本	九六	九六	九六	日電	三七	三七	三七
満業	三七	三七	三七	満鉄	五六	五六	五六	鮮銀	一〇二	一〇二	一〇二	鮮殖	一〇二	一〇二	一〇二	鮮拓	一〇二	一〇二	一〇二
鮮電	一〇二	一〇二	一〇二	鮮合	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二
鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二

大阪短期日歩

日窒	二一六	二一八	二一六	日曹	九四	九六	九四	日鉱	五六	五六	五六	日本	九六	九六	九六	日電	三七	三七	三七
満業	三七	三七	三七	満鉄	五六	五六	五六	鮮銀	一〇二	一〇二	一〇二	鮮殖	一〇二	一〇二	一〇二	鮮拓	一〇二	一〇二	一〇二
鮮電	一〇二	一〇二	一〇二	鮮合	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二
鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二

大阪長期前場

日窒	二一六	二一八	二一六	日曹	九四	九六	九四	日鉱	五六	五六	五六	日本	九六	九六	九六	日電	三七	三七	三七
満業	三七	三七	三七	満鉄	五六	五六	五六	鮮銀	一〇二	一〇二	一〇二	鮮殖	一〇二	一〇二	一〇二	鮮拓	一〇二	一〇二	一〇二
鮮電	一〇二	一〇二	一〇二	鮮合	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二
鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二

大阪短期前場

日窒	二一六	二一八	二一六	日曹	九四	九六	九四	日鉱	五六	五六	五六	日本	九六	九六	九六	日電	三七	三七	三七
満業	三七	三七	三七	満鉄	五六	五六	五六	鮮銀	一〇二	一〇二	一〇二	鮮殖	一〇二	一〇二	一〇二	鮮拓	一〇二	一〇二	一〇二
鮮電	一〇二	一〇二	一〇二	鮮合	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二
鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二

大阪棉花前場

日窒	二一六	二一八	二一六	日曹	九四	九六	九四	日鉱	五六	五六	五六	日本	九六	九六	九六	日電	三七	三七	三七
満業	三七	三七	三七	満鉄	五六	五六	五六	鮮銀	一〇二	一〇二	一〇二	鮮殖	一〇二	一〇二	一〇二	鮮拓	一〇二	一〇二	一〇二
鮮電	一〇二	一〇二	一〇二	鮮合	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二
鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二

横濱生絲前場

日窒	二一六	二一八	二一六	日曹	九四	九六	九四	日鉱	五六	五六	五六	日本	九六	九六	九六	日電	三七	三七	三七
満業	三七	三七	三七	満鉄	五六	五六	五六	鮮銀	一〇二	一〇二	一〇二	鮮殖	一〇二	一〇二	一〇二	鮮拓	一〇二	一〇二	一〇二
鮮電	一〇二	一〇二	一〇二	鮮合	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二
鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二

株式社債

日窒	二一六	二一八	二一六	日曹	九四	九六	九四	日鉱	五六	五六	五六	日本	九六	九六	九六	日電	三七	三七	三七
満業	三七	三七	三七	満鉄	五六	五六	五六	鮮銀	一〇二	一〇二	一〇二	鮮殖	一〇二	一〇二	一〇二	鮮拓	一〇二	一〇二	一〇二
鮮電	一〇二	一〇二	一〇二	鮮合	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二
鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二

生絲

日窒	二一六	二一八	二一六	日曹	九四	九六	九四	日鉱	五六	五六	五六	日本	九六	九六	九六	日電	三七	三七	三七
満業	三七	三七	三七	満鉄	五六	五六	五六	鮮銀	一〇二	一〇二	一〇二	鮮殖	一〇二	一〇二	一〇二	鮮拓	一〇二	一〇二	一〇二
鮮電	一〇二	一〇二	一〇二	鮮合	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二
鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二

綿花

日窒	二一六	二一八	二一六	日曹	九四	九六	九四	日鉱	五六	五六	五六	日本	九六	九六	九六	日電	三七	三七	三七
満業	三七	三七	三七	満鉄	五六	五六	五六	鮮銀	一〇二	一〇二	一〇二	鮮殖	一〇二	一〇二	一〇二	鮮拓	一〇二	一〇二	一〇二
鮮電	一〇二	一〇二	一〇二	鮮合	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二
鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二

爲替

日窒	二一六	二一八	二一六	日曹	九四	九六	九四	日鉱	五六	五六	五六	日本	九六	九六	九六	日電	三七	三七	三七
満業	三七	三七	三七	満鉄	五六	五六	五六	鮮銀	一〇二	一〇二	一〇二	鮮殖	一〇二	一〇二	一〇二	鮮拓	一〇二	一〇二	一〇二
鮮電	一〇二	一〇二	一〇二	鮮合	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二
鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二

銀塊

日窒	二一六	二一八	二一六	日曹	九四	九六	九四	日鉱	五六	五六	五六	日本	九六	九六	九六	日電	三七	三七	三七
満業	三七	三七	三七	満鉄	五六	五六	五六	鮮銀	一〇二	一〇二	一〇二	鮮殖	一〇二	一〇二	一〇二	鮮拓	一〇二	一〇二	一〇二
鮮電	一〇二	一〇二	一〇二	鮮合	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二
鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二	鮮鉄	一〇二	一〇二	一〇二

桃花に寄す感傷

何時の日か人々は知る

八段　齋藤銀次郎

長器の修理を出せといふことであるから、山の縁談に出てみたところで縁談されたのちらしく縁談を出縁が行つては縁談だといふことである。仕方なく縁談縁の中にはいつて修理しかけてゐた縁縁の修理にとりかかつた、縁縁をされて出縁が縁いのでは縁談縁ならまいと私はまう感縁縁とした

そこに縁縁上等兵がやつて来た「川野一等兵はうですと私が聞れる縁縁上等兵は縁縁縁

臺灣日日新報　第一萬四千七百九十二號　昭和十六年五月十八日　（第二種郵便物認可）

臺灣日日新報

日本夕刊共八頁

老砦洞其他を占領

巖窟の敵陣地を逐次奪取

陸鷲協力して猛爆

淡水方面の敵軍

殲滅目睫に迫る

顧麾下十五萬斷末魔の足掻

包圍圈を愈々壓縮

東陽北方地區の殲滅戰

皇軍に追尾潛入の敵

無量山附近に擊碎さる

臺灣の米、砂糖に

有難き御下問

長谷川總督謹話

湯恩伯に救援哀願

陝縣に砲兵陣地を構築

諸暨南方包圍殲滅戰

英イ戰・持久戰狀態

兵力不足の英軍手口摺る

官界新體制に關し

民間側三世話人具體案を練る

第二回官民懇談を前に

中央協力會議員

府縣市代表五十六名決定

本多大使を中心に

關係諸相の會議

對支政策大方針を決定

中央協力會議は

"國民常會"を發揮

中心題目は國民經濟生活

改正治安維持法

劃期的な豫防拘禁創設

昨日實施

中原戰線より

（上）陸鷲還藤、平山、內藤、大平の各部隊は十三日早朝陽城南方の谿谷を南方に敗走中の敵數千に猛爆を加へ全機悠々歸還した（寫眞は使用中の照準器）（下）敵の堅壕飛越えて肉薄猛攻中

本田駐支大使

外相と重要會談

第一回配本中

主婦之友

大好評！お申込は今すぐ！

豫定に數倍する申込殺到。用紙に制限あり、締切にならぬうち、お申込みは今すぐ書店へ願ひます。

内容見本 第一回配本

母の愛育全集

全五卷 豫約募集

乳兒の卷

推奨　陸軍大臣夫人　東條勝子

良い子强い子　御國の寶！

赤ちゃん時代をどう育てるかで子供の一生が支配されます。子供を强く正しく育てるためにお母樣方が必ず知らねばならぬ心得を、日本一流の專門學士醫助員で手をとるやうに親切に實指導いたしました。これさへ知れば、お母樣がみんな小兒科專門の家庭醫になれて、きっとお子樣を丈夫に賢く育てられます。こんな親切な育兒百科全集は今までないと大評判です。

①乳兒の卷
②幼兒の卷
③兒童の卷（上）
④兒童の卷（下）
⑤少年少女の卷

▼定價▼
正價一圓七十錢のところ
豫約期間中に限り特に……
▲各卷毎月拂　一圓五十錢　送料內地十四錢　外地十七錢
▲五卷一時拂　七圓　送料內地七十錢　外地八十五錢
●申込金は不要です。豫約期間後は正價に復します。今すぐ近所の書店へお申込み願ひます。
原則として毎月上旬・本下旬頃發賣開始

東京神田振替一八〇

主婦之友社

大東亞共榮圈
確立と無電技術の完成へ
入學資格 中學卒業程度
專門部・中三修了者以上
普通部・尋小卒業以上
創立 昭和九年・專修學校第二種指定校
校長 工學博士 岡部 建
武藏野無線電信講義錄
東京都杉並區荻窪四ノ五六ノ七
振替東京一四二六一番
電話杉並一四二番
B組十月一日
新學期

社說

南方發展と糖業の推進力

業者の自覺と一般の認識を望む

南方發展の對策の確立と南方發展とは密接不可分の關係にあり而して地理的其他の條件から云つても南方發展の鍵は實に臺灣が握つて居るものである。又臺灣に於ける本島人の資本と本島人的資質と相俟ち過去四十五年間に得た培ひ熱帶農業開發の經驗とが南方經營の鍵として出來るだけの力を添へ度いと思つてゐる。幸ひ當局に於ても此の點に着目して南方發展の爲めに重點的施策を講ずる樣努力されつゝあるが、所謂言ふは易く行ふは難しの諺もあり、從つて我が臺灣の南方發展に對する使命も容易ならざるものがあると思ふ。

南方發展の對策として先づ第一に考へられることは南方發展に必要な人的資源の問題である。南方發展の爲めには如何に物心兩面に亘る大なる人的資源と產業組織及び過去四十五年間に得た培ひ熱帶農業經營の經驗とが南方經營の爲めに必要であるかは說くを俟たない事である。然るに遺憾乍ら臺灣には此の點に於ける人的資源が極めて乏しいことである。從つて南方發展の第一歩は人的資源の培養に在ると云ふも過言ではない。

人的資源の培養と云ふことは單に勞働者の養成のみを意味するものではない。寧ろ南方發展の中心的指導者たるべき人物の養成こそ最も必要である。此の點に關しては從來とても相當の努力が拂はれて來たことは事實であるが、今後は更に一段の努力を要するものがあると思ふ。

南方發展の對策として第二に考へられることは南方發展に必要な資本の問題である。南方發展の爲めには如何に人的資源と產業組織及び過去四十五年間に得た培ひ熱帶農業經營の經驗とが必要であるかは前述の通りであるが、之等の人的資源と產業組織とを動員して南方發展の實を擧げるには之に伴ふ資本の問題が解決されなければならない。

南方發展の對策として第三に考へられることは南方發展に必要な交通機關の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第四に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第五に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第六に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第七に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第八に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第九に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第十に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第十一に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第十二に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第十三に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第十四に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第十五に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第十六に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第十七に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第十八に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第十九に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第二十に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第二十一に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第二十二に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第二十三に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第二十四に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第二十五に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第二十六に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第二十七に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第二十八に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第二十九に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第三十に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第三十一に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第三十二に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第三十三に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第三十四に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第三十五に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第三十六に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第三十七に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第三十八に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第三十九に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第四十に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第四十一に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第四十二に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第四十三に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第四十四に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第四十五に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第四十六に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第四十七に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第四十八に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第四十九に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第五十に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第五十一に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第五十二に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第五十三に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第五十四に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第五十五に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第五十六に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第五十七に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第五十八に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第五十九に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第六十に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第六十一に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第六十二に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第六十三に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第六十四に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第六十五に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第六十六に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第六十七に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第六十八に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第六十九に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第七十に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第七十一に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第七十二に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第七十三に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第七十四に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第七十五に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第七十六に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第七十七に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第七十八に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第七十九に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第八十に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第八十一に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第八十二に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第八十三に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第八十四に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第八十五に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第八十六に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第八十七に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第八十八に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第八十九に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第九十に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第九十一に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第九十二に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第九十三に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第九十四に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第九十五に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第九十六に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第九十七に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第九十八に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第九十九に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第百に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第百一に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第百二に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第百三に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第百四に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第百五に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第百六に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第百七に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第百八に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第百九に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第百十に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第百十一に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第百十二に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第百十三に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第百十四に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第百十五に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第百十六に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第百十七に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第百十八に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第百十九に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第百二十に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第百二十一に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第百二十二に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第百二十三に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第百二十四に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第百二十五に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第百二十六に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第百二十七に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第百二十八に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第百二十九に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第百三十に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第百三十一に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第百三十二に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第百三十三に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第百三十四に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第百三十五に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の爲めには人的資源と資本とを動員して南方に進出するとしても之等の人的資源と資本とを南方に運ぶ交通機關が發達しなければ南方發展の實を擧げることは出來ない。

南方發展の對策として第百三十六に考へられることは南方發展に必要な產業組織の問題である。南方發展の

皇后陛下

皇禮砲轟く裡に
京都驛に御安着
市民熱誠罩めて奉迎

【東京發同盟】十五日午後七時宮内省發表
皇后陛下には今十五日午前時十分皇后陛下御出門九時二十分東京驛御發車、午後五時半京都驛御着同五時十分京都御宿舎に御安着あらせられたり
【京都發同盟】伊勢神宮をはじめ各山陵に御參拜のため皇后陛下には十五日より五日間京都へ御滯在遊ばされる旨發表あつたが皇后陛下には十五日午後五時二十分京都驛御着、直ちに京都御所へ入御あらせられた
【京都發同盟】京都驛構内には一般奉迎者の入場を禁止したが驛前廣場には早朝から數萬の市民が詰めかけ、また驛構内の各ホームは勿論驛前廣場の屋上、附近の建物の窓や屋上等には奉迎者が鈴なりとなり、驛前廣場には奉迎者の爲に數萬の國旗が掲げられ、また驛前廣場から京都御所に至る沿道には數萬の奉迎者が整列して奉迎した
【京都發同盟】京都驛構内には一般奉迎者の入場を禁止したが驛前廣場には早朝から數萬の市民が詰めかけ、また驛構内の各ホームは勿論驛前廣場の屋上、附近の建物の窓や屋上等には奉迎者が鈴なりとなり、驛前廣場には奉迎者の爲に數萬の國旗が掲げられ、また驛前廣場から京都御所に至る沿道には數萬の奉迎者が整列して奉迎した

けふ神宮に御直拜

【京都發同盟】皇后陛下には十六日午前八時過ぎ先づ賢所に御參拜の後、神宮に御直拜あらせられる筈

市民の協力實を結ぶ
效果を收めた防諜演習

防諜演習中警官隊の警備でありつつあつた北港の防諜演習は愈々十五日午後一時から開始されたが、當日は午前中から曇天で風雨強く、午後一時頃には風速毎秒十米、雨量毎時二粍に達し、演習開始後一時間半を經過した頃には風速毎秒十五米、雨量毎時三粍に達し、演習は殆ど不可能の狀態となつたので、午後二時半頃演習中止の命令が發せられ、演習は中止された

出沒

させたスパイは何れも市民の嚴重な監視に引かかり初日に四名、二日目に四名を擧げ二日間で合計八名が檢擧され、殘りの大部分は警戒の嚴重さに恐れをなして逃げ去つたと見られる

心構への立派な會社や工場

臺北憲兵隊長は次の如き談話を發表した

戸毎に立看板を立てる氷樂町通の防諜風景

鐵桶陣の松山工場
執拗な假裝スパイを逮捕

防諜演習第四日の十五日は松山を舞臺として自衛團を指揮に參加した臨時の防諜隊と見做されるスパイ團に對し、松山に近ぴた十五日朝の食休みに際し敵の飛行機もやつぱり松山飛行場上空を飛び廻つた間諜スパイ團は松山を中心に集中的に活動を開始したが、スパイの隊長は

臺灣防諜協會成

接客業者防諜組合

きのふ 臺中座で發會式擧行

【臺中電話】臺中市接客業者防諜組合發會式並に第一回總會は十五日午後一時臺中座に於て擧行せられ會員多數參集、來賓總督府警務局高等課長、中部地方警察課長、臺中州警察部長、同特高課長、同保安課長、臺中市尹、同助役、各職業組合聯合會の幹部の下に開會、先づ會長挨拶、來賓祝辭、會則の決定、役員の選擧、事業計畫、豫算の決定等を了し、引續き會長、來賓、會員の懇親會を開き、カフエー、藝妓等をはじめ數百名を招待、盛會裡に午後六時散會した

擧行 された 防諜座談會

【臺中電話】臺中市では防諜强調週間の第一日たる十五日午前九時より臺中座に於て防諜座談會を開催、市内各職業團體から三百名を選出して來會、市尹、警察部長、特高課長等の防諜に關する講演があつた

嘉義市から奉仕隊

青年團三百名を派遣

【嘉義電話】百六十萬坪餘の廣大なる嘉義飛行場擴張工事は目下急ピツチで進捗してゐるが、この工事に從事する勞働者は殆んど全部本島人であるので、これが指導並に國語の普及徹底を期する爲め、嘉義青年團では今回第一班の奉仕隊を組織その作業振りに當ることとなつた

農報女子青年 挺身隊結成式

【臺中電話】臺中地方の農家なる

國民學校長會議

本月末 臺南州で招集開催

【臺南電話】臺南州では來る月末三十一の兩日に亙り今次新しく發足を見た十一の國民學校長を招集、臺北州外事課長加藤氏を講師として國民の防諜思想を啓發し、防諜の徹底を期すべく會議を開催することとなつた

防諜は何故必要か

臺北州外事課長 加藤氏 ①

諸行動に依る機密を探る場合には諜報活動をするの意味つまるところ、我々の發が本當から非常に他國で其の一生涯を送る事が出來ないと云ふことも、又我々の發が本當から非常に他國で其の一生涯を送る事が出來ないと云ふことも、又我々の發が本當から非常に他國で其の一生涯を送る事が出來ないと云ふことも、

病菌に 喩へる 者が出來 諜報活動が 盛んで 居ることは 誰も 我々の 發が 知る 處 於ても 我々の 發が 知る 處 於ても 我々の 發が 知る 處 於ても